

念願の全種目完走 問題が多く、トラブル続きの車両

名城大学工学部自動車技術研究会
Meijo Racing Team
<http://www.meijo-racingteam.jp/>



今回の総合結果・部門賞

●総合25位 ●日本自動車工業会会長賞

Profile チーム紹介・今までの活動

Meijo Racing Teamは2001年に理工学部交通科学科の学部生を中心として発足致し、発足後数多くのご支援とご指導を受け、第1回大会から毎年出場し、今年度で12回目の参加となります。今年度は昨年度、全種目完走が果たせず悔しい思いをしたことから、全種目完走を目標に活動して参りました。

Team-member チームメンバー

分部 あゆみ (CP)

早藤 英俊 (FA)、野口 卓弥、平澤 良介、加藤 靖章、永沼 樹海、岩田 泰寛、森 佑樹、印田 悠一、春日井 梨絵、佐久間 崇文、渡辺 拓也、相京 里奈、加藤 凌、杉山 勇希、塚本 貴斗、宮川 弘基、綿谷 佳之、大木 陽一、石川 龍、磯部 文洋、岩原 誠吾、白木 保那美、丹野 大樹、徳留 尚樹、中井 宏彰、森嶋 康太

Sponsors スポンサーリスト

天木鉄工、井上ボーリング、協和工業、サイバーネットシステム、三五、三和メッキ、住友電装、ソフトブレイン工業、ソリッドワークスジャパン、ダッド、中央発條、手島印刷、寺田、トーテックフロンティア、日信工業、ミスタータイヤマン日進店、ミスミ、ミナロ、やまと工業、ヤマハ発動機、ヨシムラジャパン、レインボースポーツカートコース、レーシングサービスワタナベ、和光ケミカル、ANSYS、CAST、D.I.D、FCデザイン、NTN、RAMPF Group Japan、WADA WELDING

Presentation プレゼンテーション

マシン名: MR-12

今年度は昨年度、あと少しのところまで全種目完走ができなかったことから、全種目完走を目標に活動を行ってまいりました。また、メンバーの人数が増えひとりあたりの作業の負担が減り、メンバーの割合も昨年度より3、4年生といった上級生の割合が増えたため、いろいろな事に挑戦できるメンバーが増えたことから昨年度の問題を改善だけでなく、より良い車両を作っていくということから車両コンセプトを“高性能”としました。

しかし、実際に車両を設計する段階になるとそれぞれの部品担当者が自分のやりたいことを盛り込んだ設計を行い、関連部品の担当者との話し合いも不十分なうえ車両全体を見ることができず車両としてまとまりのないものとなってしまいました。そのため、軽量化に成功した部品もありますが、新しい技術に挑戦し重くなってしまった部品もあり結果として大きな性能の向上は果たせませんでした。

また、エンジン系に関しては電装トラブルからエンジン始動に時間を要してしまい、思うように走行テストを行うことができず、車両として完成度を高めることができませんでした。

Participation report 参戦レポート

大会初日は車検に挑みましたが、4項目の指摘を受けました。修正作業に2時間を要してしまい、初日に技術車検を通過することができませんでした。

2日目は再車検を受け、前日に指摘されていた点について合格することができました。次にドライバーテストとチルトテストを通過しました。静的審査についてはデザイン審査では準備の不足や車両の設計プロセスについて指摘を受け昨年度より順位を下げる結果となってしまいました。静的審査の間にブレーキ、騒音テストに向かう予定でしたが、エンジンが安定せず通過できませんでした。

3日目は前日行うことができなかったブレーキ・騒音テストを通過し、アクセルレーションとスキッドパッドに向かいました。午後からは天候が不安定であったため開始直後にオートクロスに向かいました。1本目の途中コースアウトしエンストするトラブルがありましたがタイムを残すことができ、エンデュランスの走行は翌日の午後となりました。4日目は午前中に雷雨の影響で審査開始が遅れ弊チームの出走は15時ごろとなりました。1stドライバーはエンジン不調のためエンストするなどトラブルがありましたが走りきりました。2ndドライバー走行時にはエンジン不調はさらに悪化し回転数が低下するとエンストする状態となりました。ドライバーは高回転を維持して走行を続け完走することができました。

今年度は車両完成が遅れ、エンジン調整も不十分であったため、全種目完走は果たしましたが課題の多く残る結果となってしまいました。

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/12th/movie/28.html>